他への重複投稿はご遠慮ください。 る場合は別にしてください。広報投稿作品の 漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿す 役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。 投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、

## 短 歌

末武 有二 選

七夕や孫に聞かせる星の恋

みぬ 今日も安穏 丸くなりつげの木陰に寝てしまう隣家の犬は 散水に元気を得たる紫陽花は花まり美しく艶 る で空押しひろぐ ましき野を隔てる山はもくもくと木々膨らん めきみする 諸々の法事を終えて久々に茶室に座して心和 運動会心一つに舞う子らの一途な姿涙こぼれ ごと宙に直立つ まかないに復興工事のクレーン二機威圧する 安永 古閑 宮園 金子フム子 川野 守住 山下たか子 島田 井上てつ子 孝子 廣子

広報に投稿するわれ楽しいが娘の歌探す母も 寺迫 木山 本田 西坂ヨシ子 龍子

お願い

投稿は、一人一首でお願いします。

年重ね時間ができて歌を詠む今昔の差に幸せ

うれしい

馬水

西田

正

学童の歓声消えた校庭に休みは明けて今朝は

紫陽花は小首かしげて雨を待つ 俳 句

河野

全平

選

揚げ雲雀探し探して空の青 店頭に買っておくれとサクランボ 恋合戦田んぼは戦場アマガエル 小谷 赤井 野中

広崎 広崎 今吉マキ子 西山恵美子 瀬戸サイ子 松原まゆみ

木山 惣領 赤井 増岡 山口サツキ 阪口由美子 伸禧

句鑑賞

走り雨星を貫く濁り雨

田原

辻ヶ峰子

総合体育館北側の秋津川ほとり

また一つ薬が増えて梅雨ごもり しょうぶ湯や孫の背中を流しけり 野イチゴを摘みに行きたい五月晴

鷺草の羽ばたきしげき雨の中

小野内泉雨

柳

布田川左門 選

『お題』 10年後

10年後達者でいれば96

辻団地の小吉

直し、名君と呼ばれる細川重賢のめられており、藩の財政難を立て

「宝暦の改革」でも、重要な産業対

実を米の代わりに上納することが認

して江戸時代には重要な作物でし ます。櫨の実は、ろうそくの原料と に幹回り2~※を超す櫨の大木があり

た。寛永11 (1634) 年に、櫨の

10年後オレは元気で95

10年後おしゃれな町の中央道

広崎まゆみ 赤井すいすい

※参考例

風化させぬ地震の町の10年後

四苦八苦辞書を片手の外来語 F35藻くずと消えた100億円 自由詠

馬水のまさみ

です。

しかし、ちまたでは、赤穂浪士

今も残る熊本城櫨方門はその名残 内に櫨が役所が設けられました。 策として櫨ろうの栽培を勧め、

ており

安永

福田

圭子

「お題」

地震に揺れ破壊した道補修され朝の光に輝き

癒やしは増して

小谷 今吉マキ子

マッサージ受ける私の窓越しにバラは艶やか

※参考例

新潟山形熊本地震よみがえる

やぶにらみ

赤井すいすい

もうたまらん何とかならぬか事件事故

川柳のお題 潮井宮・潮井さん

た播州赤穂浪士は、本懐を遂げた

主君のあだ討ちに吉良邸に討ち入っ

元禄15 (1702) 年12月14日、

います。なぜでしょうか?

藩での栽培が始まったと伝えられて と精ろう法を教えたことから、細川 の有利な事を進言し、その栽培法 の大石内蔵助が細川家に、櫨栽培



三郎

木 山

秋津川ほとり 櫨の大木